

**お便りください**  
このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。  
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。



吉原商業高校商業ビジネス部の皆さん

開店一周年を迎えた「吉商本舗」  
吉原商業高校は、商業高校の特性を生かし、実際に高校生に商売を経験してもらおうと、「チャレンジショップ」の開店を計画。昨年四月、その運営を担う商業ビジネス部が設立されました。

いらっしやいませ、吉商本舗です！  
「吉原商業高校商業ビジネス部」



経営は、すべて部員の手で  
「多くの人の支援のおかげでここまでやってこられたと実感しています。皆さんの支えがなかったら、一年ももたなかったかもしれません」と話す顧問の

このほど一周年を迎えました。部員たちは、NPO東海道・吉原宿の支援を得ながら、企画や商品の買い付け・販売などを実践しています。店舗では、主に駄菓子やジュース、アイスなどを販売。現在は、NPO東海道・吉原宿が行うTシャツグランプリのTシャツも販売しています。

店舗などで販売するTシャツづくりも部員たちが...



経営方針などについて話し合う定例会議を週1回開催

店舗を飛び出し、イベントや地域でも活動  
店舗で客を待っているだけでなく

お問い合わせ  
吉商本舗 ☎0531-21733  
http://www.yoshiwara.net/npohonpo/  
営業時間  
平日 十六時～十八時  
土・日曜日や夏休みなど、生徒が休みの日 十時～十七時

常に関心することに挑戦し続ける商業ビジネス部。これからの活動も楽しみですね。

部員の望月彩花さん(三年)は「この一年あつという間でもらえるように、商品をどのように並べたらよいか、何を仕入れたら売れるかなど自分たちで考えてきました。みんなでいろいろアイディアを出し合いながら活動しているので、楽しいです」と笑顔で話してくれました。

若園耕平教諭  
大人たちからのアドバイスはあるものの、経営に関することは、部員に任せられています。仕入先へ銀行振込で支払いをするとき、違う口座に振り込んでしまったことなど、さまざまな失敗がありました。



吉原商店街にある「吉商本舗」



は売り上げが上がらないと、富士まつりなど市のイベントや地域の祭りにも出店しています。「これからは、積極的にPR活動をしていこうと思っていま。まだ、吉商本舗を知らない人がいるはず。帰り道など、家のポストにチラシを入れ、PRしていこうと考えています」と部員の望月純子さん(三年)も。また現在は、学校の北側にある畑で野菜を栽培中。収穫した野菜は、吉原商店街の「こちよし」や富士本町商店街の「楽々市」で販売する予定です。